出ヲ避ケ二流若クハ三流ヲ一番トシ毎月一回十時ヨリ十二時迄一回分ハ
二時ヨリ三時迄ノ間ニ於テ一回宛ニ限定シ一面總同盟幹部ノ人
要員トシテ參加シ幹部ノ出席ヲ得テ且ツ歸途ニ全力ヲ
傾倒シツツアルモ其ノ結果ヲ見ルニ勝敗ノ數ヲ保持シ得ルヤ否ヤハ頗
ル疑問ナリ

(四)正義團ニ對スル「ボイコツト」
正義團ノ積極的活動ニ對シ爭議團ニ於テハ去ル七月ノ一般委
員會ニ於テ新聞ト同志ナル者ノ從業員ニ對シ「ボイコツト」
ヲ為スコトニ決定セリ

(五)會社側ノ態度 日本新聞社ハ遠島哲男ノ態度ヲセルトセン
日刊人事通信ニ對スル態度
過般會社側ニ於テハ解雇セル日本新聞社ノ遠島哲男一派ニテ
於テハ未ダ解雇セレトセルハ日刊人事通信ハ何レモ爭議團員タル

幹部ノ人氣七通ヲ中傷スルモノナリトナシ未ダ撲滅セシ左ノ如キ秘
密文ヲ記載シ明ケ内容サルモノニ揭出セリ

記

日本新聞ノ日刊人事通信記者ニ依リ小泉氏ノ中傷讒誣ヲ蒙レ
ル報ヲシテ居ルカ之レ元ハ精神病者ノ傳臣押エヲ遠島哲男ノ仕事
デアリマス彼ノ遠島ハ狡猾ナ説ヲ廣メテ居ル事件ノ頭目デアリ
世ノ人ハ彼ヲ「スパイ」ト呼ンデ居ル稻垣備ノ為メナリトシテ事デモスル
男デス今後ノ事モ會社カラ輕スレテ金錢ヲ集メ活動サスセシ會社ハ
斯ル事迄モシナケレハナラヌ程困ツテ居ルノデス

爭議團本部

(六)爭議團ト小出石井相助ノ上京
前述ノ如ク爭議團側ハ懲戒解雇ヲ期トシ際シ別ニ裁判所ニ解決セル
能ハサル事ヲ知リ頻リニ解決ヲ急キツツアルモ會社側ノ態度強硬ニ

財團法人協調會